

令和4年度 第5回中央公民館運営審議会会議概要

(令和5年4月10日作成)

- 1 開催日時
令和5年3月16日(木) 午後2時58分～午後4時50分
- 2 開催場所
中央公民館 4階 第2集会室
- 3 出席者
 - (1) 委員 沼波委員長、山中副委員長、三宅委員、宮崎委員、染谷委員、長谷川委員
 - (2) 事務局 中央公民館長、浜町公民館長、宮本公民館長、海神公民館長、中央公民館長補佐、中央公民館広域事業担当者
- 4 欠席者 中野委員
- 5 議題
 - 「公開」
 1. 各公民館の12月15日から3月31日までの事業報告について
 2. 各公民館の令和5年度事業計画について
 - 「非公開」
 3. 社会教育関係団体の登録(新規)について
- 6 傍聴者数 なし
- 7 決定事項
 1. 各公民館の12月15日から3月31日までの事業報告を承認
 2. 各公民館の令和5年度の事業計画を承認
 3. 社会教育関係団体の新規登録について承認
- 8 議事 次ページより
- 9 その他
次回は、令和5年4月27日(木) 午後3時 中央公民館
- 10 問い合わせ先 中央公民館 047-434-5551

令和4年度 第5回 中央公民館運営審議会
議事録

| | |
|-----|-------------------------------|
| 日 時 | 令和5年3月16日（木） 午後2時58分～4時50分 |
| 会 場 | 中央公民館 4階 第2集会室 |

午後2時58分開会

○事務局（中央公民館長補佐）

ただいまから、令和4年度第5回中央公民館運営審議会を開催いたします。

本日は中野委員より欠席とのご連絡がありました。また、長谷川委員につきましては、1時間ほど遅れるというようなご連絡をいただいております。審議会は7名中、5名のご出席をいただいております。船橋市公民館条例施行規則第15条第3項の規定によりまして、半数以上の出席がございますので、この会議は成立となります。

また、会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第26条及び附属機関等の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開となります。

なお、議事のうち、社会教育関係団体の新規登録につきましては、情報公開条例第7条第2号の不開示情報（個人に関する情報）が記載されているため、非公開となります。

なお、本日の傍聴者はございません。

それでは議事に入りますが、議事の進行につきましては、船橋市公民館条例施行規則第15条第2項の規定により、委員長が会議を整理することとなっております。沼波委員長、議事進行をお願いいたします。

○沼波委員長

では、早速始めさせていただきます。

12月15日から3月31日までの事業報告について、中央公民館より順次ご説明をお願いいたします。

○中央公民館長

それでは、中央公民館のほうからご報告をさせていただきます。

まず、青少年の部でございます。「ふなばしハッピーサタデー」として、12月24日は「クリスマスホールケーキ作り」、1月21日には「ベーゴマにチャレンジ!」、2月18日、19日に関しては「一輪車教室」です。そして、これは未来日となりますが、3月18日、「はじめてのテニス」でございます。

まず、「クリスマスホールケーキ作り」につきましては、こちらすごく人気ございまして、応募と同時にすぐ埋まってしまったというところございまして。皆さん、親子で楽しそうにケーキをつくっている姿が印象的ございました。

それと、「ベーゴマにチャレンジ!」でございますが、昔遊びでやったことがない子供たちが多くて、どんなもんだらうというところございまして、最後には友達同士で試合というか、戦うベーゴマということでやっている姿がすごく印象的ございました。

それと、2月18日、19日の「一輪車教室」です。こちらはたった2日間で、なかなか乗り切れない子供もいらっしゃったのですが、手を離してこぎ出す子供もいたということで、すごくよかったのかなと思っております。

「はじめてのテニス」については明後日です。こちらはすごく人気ございまして、やはり応募と同時に埋まってしまったというところでございます。

続きまして、成人の部、「アナウンサーだけが知っているコミュニケーション術」ということで、1月28日、2月4日の2回に分けて行いました。こちらフリーアナウンサーの鈴木久美子さんにお越しいただきまして、「マスクをしたままでも！伝える・伝わる話し方」、それと「アナウンサーの仕事って・・・？テレビ・ラジオの裏側を見てみよう！」というところで講座を行いました。

こちらに関しては、マスクが当たり前の時代に相手に伝える・伝わる話し方ということで、すごく興味があるところで、皆さんいろいろと疑問に思っていることや、どういうふうに滑舌をよくしたらいいかとかといったところを、鈴木久美子さんに教えていただき、すごくためになる講座だったと思っております。参加者の方からは、「ふだん意識していないことを知ることができた」、「大変実践的な内容でよかった」という声をいただいております。

続きまして、「人生100年健康講座～日々元気に過ごすために～」というところで、2回の講座に分けて行いました。2月14日に「大人のリトミック」、2月21日に「生活習慣病からフレイル予防へ」ということで行いました。こちらも応募と同時にあっという間に埋まってしまった講座でございます。ねらいとしては、人生100年時代の到来に伴いまして、高齢期をよりよく生きるための学習というスタンスで考えた講座でございます。こちらに関しては、生涯学習コーディネーター連絡協議会との運営協力ということで行っております。

最初の「大人のリトミック」に関しても、やはり体を動かすといった観点から、生き生きとした姿が印象的でした。それと「生活習慣病からフレイル予防へ」ということで、健康と要介護の間にある状態の「フレイル」がどういうものなのかということを確認していただくことで、いろいろためになった講座でした。

それと、「地域防災講座」に関しましては、こちら湊西六自治会とのお話がかたず、コロナ禍の関係で自治会活動が少し停止している中でできないということで、残念ながら中止となりました。

続きまして、「家庭教育セミナー『教えて！式場先生！自分で考える子どもに育てるには？』』というところで、これは本日、行った事業でございます。こちら人数等が抜けておりますので、ご記入をお願いしたいと思います。3月16日（木）晴れでございます。参加者数は女性のみ12名でした。

私もどういう内容でやっているのかなというところで、見た中では式場先生の分かりやすい話し方を聞いて、すごくためになりました。子供を育てるにはどのような思いで、どのような対応をしていけばいいかという観点で、いろいろな視点から教えていただいた講座でございます。次の3月23日にも同じ内容でやるということで、もし興味のある方がいらっしゃれば、ぜひこの中でもご参加いただければと思います。

続きまして、高齢者の部、「中央ふれあい学級」でございます。こちらに関しては、1月11日に「新春コンサート」を、ピアニストの金益研二さん、バイオリニストの石井有子さん、ボーカルの多岐川装子さんをお招きして行いました。聞いていて落ち着く音楽だなと思っております。

続きまして、2月8日、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」です。3月8日は記載がご

ございませんので、ご記入をお願いしたいと思います。天候は晴れ、参加者人数が男4、女24、合計28名でございます。最後の「中央ふれあい寄席」ということで、三遊亭楽生さんに来ていただきまして、笑いあり涙ありという形での寄席で、皆さん楽しんでいただいた状況でございました。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」でございます。こちらは12月21日、2月15日の2日に分けて、健康づくり課の協力によりまして行いました。

続きまして、その他です。「サークル活動見学・体験月間」ということで、12月1日から25日までの間で、「サークル活動の見学・体験」ということで行いました。参加いただいた団体は、全部で54団体ございました。団体のほうからは好評を得て、「また来年もやるんですか」という声を聞いております。また令和5年度についても、同じような形でやればと今考えているところでございます。

続きまして、「青年教室『若草の会』」です。こちらは1月8日に初詣、新年会、それと3月5日にお楽しみ会、役員改選ということで、小中学校特別支援学級教師の方ですとか、市民ボランティア、または会員の父母の方々にご協力いただきながら行ったものでございます。

続きまして、「サンデー・コンサート」です。12月18日（日）には船橋市交響吹奏楽団、1月29日（日）には船橋吹奏楽団、2月26日にはアルファモニック吹奏楽団のご協力を得て、「サンデー・コンサート」を行いました。うちの講堂はスペースがそんなに広いわけではありませんので、間近に音の迫力というものを感じたところです。やはりコロナ禍にあった中で、昨年、その前とできなかった部分はあったのですが、今年度やった中で、この3回のコンサートをすごく楽しんでいただいた状況でございました。

続きまして、「巡回児童ホーム事業」です。こちらは児童ホームとの共催事業ということで、1月20日、3月10日に行いました。3月10日の日時と参加者人数等が漏れておりますので、ご記入をお願いします。天候が晴れ、参加人数が男2、女16、合計9組で18名の参加でございました。こちらに関しても児童ホームとの共催事業で、「0・1歳のぼかぼか広場」と、「小学生わくわくタイム」ということで、簡単工作やゲーム、児童ホームの職員がいろいろ手取り足取り教えていただくような形でやった事業でございます。

続きまして、「出張子育て支援事業」です。こちらは南本町子育て支援センターとの共催事業により行っております。12月15日は「ハープコンサート」。ハープ奏者の本間さんに来ていただきまして、子供たち、または親御さんがいろいろ楽しんだ事業でございます。1月17日には「小児科医のおはなし（子育て健康相談）」ということで、小児科医の松本先生にお越しいただきまして、いろいろお話を伺いました。続いて2月2日には、親子講座「産後ヨガとベビーマッサージ」ということで、ヨガインストラクターの前田先生にお越しいただきまして行った事業でございます。

続きまして、最後です。南部ブロック公民館合同事業ということで、「小学生けん玉交流会」を行いました。2月12日に行ったのですが、南部ブロック4館で合同事業ということで、けん玉パフォーマーの嶋寺先生と吉村先生にお越しいただいて、基本技を練習したり、最後に級の検定ということで行いました。慣れている子供さんもいらっしゃれば、初めてのの

子供さんもいらっしやっているので、階級によっていろんな形で教えていただいたということでございます。

級の検定のときには、緊張しながらやっている子供さんがすごく印象的でした。子供たちにとっては「もっと上手になりたい」、「もっとやってみたい」というアンケートの結果からも、やっていて面白かった事業だったのかなと思っております。こちらもすごく人気でございまして、40名応募のところ、約倍の80名近くの応募があったという事業で、そこで振り分けた形での参加というところでございました。

中央公民館からは以上でございます。

○沼波委員長

ありがとうございます。

では、次に浜町公民館、お願いいたします。

○浜町公民館長

浜町公民館からご報告いたします。

まずは、青少年の部、「遊びの学校・ハッピーサタデー」でございます。12月17日(土)、「冬のお楽しみ会」ということで、若松児童ホーム職員と浜町公民館の職員で楽しい催しを行いました。1月28日、若松地区青少年健全育成会さんと「スノードーム作り」ということで、以前もお話ししましたが、透明な玉の中できらきら光るような置き物を自作するという形を取りまして、非常に人気のイベントでございました。

続きまして、2月26日、「わんぱくフェスタ」の中で一つのブースとして行いました「センサーボトル」です。こちらも若松地区青少年健全育成会の方にご協力をいただきまして、スノードームづくりに似たような形で、もう少し簡易版ではございますが、スノードームづくりのものと同様に遜色ないような出来栄で非常にきれいなものを子供たちが作りまして、皆さん大喜びでお持ち帰りいただいたと思います。

続きまして、3月18日、「みんなでお絵かき」です。こちらはお絵描きの谷口先生にご協力を得ましてやる予定をしているところでございます。

続きまして、「わんぱくフェスタ」。こちらは「子どもまつり」でございます。久しぶりの子どもまつりということでございまして、コロナ禍がだいぶ収まりつつありますが、模擬店で食べ物を出し物を控えた中で行いました。一時期は実行委員の方々が頭を悩ませたところではございましたけれども、皆さん子供たちを楽しく遊ばせていただくプロの方の集まりでございましたので、いろいろ意見を出していただきまして、実際に開催をいたしました。そうしましたところ、子供たちが非常にたくさん来てくれまして、本当に久しぶりのお祭りというイメージで、きゃーきゃーと中で騒ぎながら非常に賑やかな集まりとなりました。延べ人数でございますけれども、合計で2,006名ということで、館内を所狭しと走り回る姿がございました。

変更点としましては、先ほども言いました食べ物の模擬店を控えたということと、実行委員様の話し合いの中で、お昼ご飯を食べてからの開催にしようということで、時間を短縮し午後にずらしまして、3時間という形で午後に行いました。非常にスムーズに会は進みま

した。ご報告いたします。

続きまして、成人の部です。「若松小・中学校家庭教育セミナー」。こちらは年3回を予定しておりまして、「救急講習」「認知症」「思春期の性」という毎回違うテーマで開催いたしました。今回は「思春期のこころとからだ・親の心構え」ということで、助産師の方に講師をしていただきまして、62名の方に参加いただいたところでございます。

続きまして、高齢者の部、「いきいき健康大学」です。こちらは先日、3月14日を最終としまして、10回中の10回が終わりました。人数が入っておりませんので、今読み上げさせていただきます。3月14日、晴れ、男性7名、女性39名、合計で46名でした。1月10日の「新春浜町寄席」では、三遊亭円福さんに来ていただきまして、この円福さんは船橋の市民でございますので、地元のネタなどを絡ませながら楽しい時間をいただいたと思っております。

2月14日は「軽運動」です。こちらは健康運動指導士の池田忍さんに来ていただきました。この池田さんという方が、運動指導員なんですけれども非常にひょうきんな方で、みんなげらげら笑いながら楽しく体を動かしたところでございます。

3月14日、「交通安全教室・防犯講話」は、市民安全推進課と船橋警察署から講師に来ていただきまして、交通安全、もしくは詐欺の話だったり防犯の話だったり今ホットな話題でございましたので、真剣な目をしながら聞いていたところでございます。

続きまして、「シニアのための健康講座」です。1月25日に「リトミック」を行いました。リトミックと言いますと親子でやるイメージもございますけれども、高齢者の方も非常にリトミックと相性がよさそうでございますまして、皆さん楽しくリトミックの戸辺先生のお話を聞きながら体を動かしておりました。

続きまして、「介護予防教室」です。介護予防に関する軽体操または講話で、第一興商にお願いいたしました。第一興商はご存じの方も多と思いますけれども、イメージどおりの画面を使って皆さん一緒に体動かすという新しいスタイルの介護予防教室を開いていただいております。楽しみながら体を動かすことができました。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」です。こちらも健康づくり課の職員に来ていただきまして、リハビリ体操の説明や体操の実技を行い、軽い汗を流したところでございます。

続きまして、デジタルデバイド解消ということで、「はじめてのスマホ体験『やさしい基本編』」です。こちらはソフトバンクの会社からスマホアドバイザーに来ていただきまして行ったところです。

次も「はじめてのスマホ スマホ使い方教室」でございますが、こちらは会社が違いました、NTTドコモに来ていただきました。浜町公民館のそばにある店舗のほうから無償で来ていただきまして、3回の講座をセットで行っていただく3回目ということで行いました。2月3日、10日、17日でございます。

続きまして、「ふれあいいいききサロン華の会」です。こちらは湊町地区社会福祉協議会の方を中心としまして、おおむね65歳以上の高齢者の交流会という部分で行いました。非常

に集まりまして、賑やかに会が催されておりました。

続きまして、その他、「すくすく広場」です。こちらは0歳児を持ち、育児にかかりきりで孤立しがちな母親たちの交流や情報交換を通して仲間をつくるという目的で行いました。

12月20日、「クリスマスを楽しもう」、1月24日、「親子でストレッチ」、2月28日、「親子でリトミック」、3月28日はこれからでございますが、「ベビーマッサージ」を予定しているところです。

そして、イベント的には最後でございます、「こんさーとin風のまち浜町」。こちらは3月11日に「春風にのせて贈る～世界と日本の名曲集～」ということで、ソプラノ歌手と、テノールでしたか、少し音階の低い歌手の方とピアノの伴奏の方、計3名で行いました。非常に外見も美しく声も美しく優雅でありながら声が大きく、圧倒されるようなステージが繰り広げられました。

続きまして、「浜町公民館だより かもめ通信」。こちらは発行月が2月（年3回）、発行部数7,500部で発行したことをご報告いたします。

以上でございます。

○沼波委員長

ありがとうございます。

宮本公民館、お願いいたします。

○宮本公民館長

宮本公民館の12月15日から3月31日までの事業報告をご説明いたします。

初めに、青少年事業、「ハッピーサタデー」です。1月21日（土）に「第2弾 レッツ！グラウンド・ゴルフ！！！」を宮本地区スポーツ推進委員、宮本児童ホームとの共催により開催しました。6月にも開催していて、とても好評であったことから2回目の開催となりました。前回同様、親子での参加もあり楽しんでいただくことができました。

2月25日は「カーレットを楽しもう！」をNPO法人カーレットジャパン協会にお越しいただき開催しました。なかなか認知度がない軽スポーツで、人集めに苦労しましたが、参加された皆様からは「とても楽しかった」と好評をいただきました。小学生対象ではありましたが、当日は親子での参加もオーケーとして楽しんでいただきました。

次に、「みやもとショータイム」です。別掲になりますが、宮本児童ホームとの共催で、3月12日（日）にもともと「みやもとこどもまつり」を開催する予定でしたが、コロナ禍の影響などにより中止となった代替事業です。午前中に乳幼児親子向けを開催、児童ホーム職員によるダンスやクイズを行った後、ママさんブラスビートの演奏会をお楽しみいただきました。午後は小学生向けを開催、こちらも児童ホーム職員によるゲームやマジックを行った後、シルク・ドゥ・ソレイユ登録の大道芸人「おこたんぺ。」さんによるショーを披露していただき、様々な道具を使った技に魅了されました。参加者等の記入をお願いいたします。天候は晴れ、午前中の参加者は合計63人、男18人、女45人。組数としては24組になります。午後の参加者数は合計が42人、男18人、女24人でした。

続きまして、成人事業、「みやもと生涯学習セミナー」は、次ページにまたがりませんが、「新

聞ちぎり絵体験講座」を船橋市生涯学習コーディネーターとの共催により開催いたしました。日本絵手紙協会公認講師にお越しいただき、カラー部分の新聞紙を使用して、手でちぎり、ろうそくの葉書をつくりました。各自持参していただいたカラー新聞紙なので、様々な色で味のある葉書が出来上がっていました。

次に、「スマホアプリ活用講座」は、2月16日、3月2日、9日の木曜日に3回講座で開催。かもめIT教室にお越しいただき、便利なアプリの使用方法を学びました。事前に自分のスマートフォンに講座で使用するアプリをダウンロードしていただく必要があり、申込者1人でのダウンロードが難しい場合は、公民館職員が事前にレクチャーをして当日を迎えました。なかなかの好評で、今後も違う内容で開催していきたいと思っております。参加人数の記入が漏れております。3月9日の天候は晴れ、人数のほうが15名、男2人、女13人です。

次に、「家庭教育セミナー」は、2月7日、14日の火曜日に2回講座で開催しました。乳幼児期の親子で学ぶスキンシップのコツをテーマに、一般社団法人マザーナース・オリーブにお越しいただき、ベビーマッサージとベビーホームケアを地域の乳幼児親子を対象に家庭教育力の向上に努めました。

次ページに移ります。高齢者事業、「宮本寿大学」は第3水曜日に開催しました。12月は「落語鑑賞会」を公開講座として、真打以前からお付き合いのある三遊亭楽生さんの講座に笑いがあふれる会となりました。1月は「映画鑑賞会」で、天海祐希さん主演の「老後の資金がありません！」を上映。2月は「終活について」、京葉行政書士FP合同事務所の方を講師にお迎えし、終活の準備や相続など総体的な講話をしていただき、大変好評をいただきました。3月は「消費者講座」と閉校式で、消費生活センターにお越しいただき、悪質商法、契約トラブルの対処方法などを学び、閉校式では皆勤賞の表彰と記念品をお渡しし終了しました。参加者数の記入をお願いいたします。3月15日、天候は晴れ、参加者数は36人、男6人、女30人でした。

次に、「介護予防教室」は、原則毎月第2水曜日に宮本・本町地域包括支援センターとの共催で「げんき体操（転ばず、物忘れせず、健康維持）」を行っています。参加者数等記入をお願いいたします。3月8日の天候は晴れ、参加者数は合計18人、男1人、女17人でした。

次ページに移ります。「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、原則偶数月の第4水曜日に保健所健康づくり課との共催で実施しています。

続きまして、その他事業です。「地域ふれあいコンサート」は、「歌と踊りで贈る真冬のハワイアン」を宮本公民館三百人劇場実行委員会と共催にて開催。歌唱力が抜群なボーカルを中心に、歌あり、演奏あり、踊りありの華やかなステージとなりました。

次ページに移ります。次に、「みやもと三百人劇場」は、「椿三重奏団～魂の室内楽～」を3月18日（土）に開催いたします。ピアノ、チェロ、ヴァイオリンのトリオ演奏をお楽しみいただきます。今週の土曜日に開催となります。

次に、「2台ピアノを弾いてみませんか」は、3月19日（日）、20日（月）で開催いたします。講堂にあるグランドピアノ、スタンウェイとヤマハを自由に弾いていただき、文化・

芸術に触れていただく機会にさせていただけたらと思っています。

次に、「宮本卓球開放」は毎月第1、第3火曜日の午後6時半から8時半までで開催。軽スポーツを通して、健康増進と交流を図ります。参加者数の記入をお願いいたします。参加者数が合計18人、男11人、女7人でした。

次ページに移ります。「宮本公民館ほんの森」は、毎週水曜日と土曜日の午後2時から4時で図書の貸出、返却業務を行っています。2月の人数等の記入をお願いいたします。人数は23名、冊数が46冊となります。

次に、「クリーンアップみやもと」は、毎月第2木曜日に児童ホーム、宮本第一保育園の職員と一緒に近隣公園の美化等に努めております。

次に、「宮の森ギャラリー」です。宮本公民館3階の通路を活用してサークルの作品等を展示する機会を提供することで、サークルの活性化を図ります。

最後に、「市民の力活用事業」は、「笑って学ぼう！船橋の魚から考える食育のこと」として、さかな芸人ハットリさんにお越しいただき、替え歌、クイズ大会、YouTube企画のお話、船橋の魚のスズキ、コノシロ、ホンビノスガイの話。最後にハットリさんのこれまでの歩みをご講話いただく予定です。3月26日（日）、午後2時開演で、現在40名ちょっとのお申し込みをいただいているところです。委員の皆様もお時間があればぜひともお申し込みいただけたらと思います。

宮本公民館からは以上です。

○沼波委員長

ありがとうございました。

では、海神公民館、お願いします。

○海神公民館長

海神公民館、令和4年度の12月15日から3月31日までの事業報告をいたします。

3月1日から公民館もやっと再開することができました。サークルの皆さんもほとんど戻ってきてくださって、「待ってたよ」というお声を多く聞くことができました。

それでは、青少年事業です。「ハッピーサタデー」は、青少年課・海神児童ホームとの共催事業です。1月11日は「レクスポゲーム」ということで、船橋市レクリエーション協会の方に来ていただき、児童ホームで行いました。学校が早く終わる日の実施であり、たくさんの子供たちがゲームを楽しんでいました。

2月は「海神地区こどもまつり」を計画しておりましたが、工事により場所を確保できないため、実施は見送りました。再掲のほうにも載せておりますが、こどもまつりは中止です。

3月11日は、最初の予定では軽スポーツ交流会を予定しておりましたが、講師の皆さんの都合がつかなくなり、急遽、「たのしい折り紙教室」を実施いたしました。地域の折紙の会の皆さんにお願いし、子供たちに折り紙を教えていただきました。参加者の記入をお願いいたします。親子での参加もありましたが、男性11名、女性11名、計22名。天気は晴れです。鶴とか風船とか昔ながらの折り紙ではなく、コマですとか薔薇の花といった新しい折り紙でした。子供たちは集中して指を動かし作品を完成させて、帰り際「楽しかった」という

声をたくさん聞くことができました。講師の皆さんも「講師というより、子供たちと一緒にできて楽しかった」というお言葉をいただいて、よい交流の機会となったと思います。

次に、成人事業です。3月2日、「デジタルデバインド対策事業」の「はじめてのスマホ体験『やさしい基本編』」を実施しました。参加人数をご記入ください。男性6人、女性14人、計20人です。天気は晴れです。一時、申込みの減少が見られたスマホ講座ですが、久しぶりだったためか今回は申込みが多く、まだまだ需要があるということを感じました。皆さん熱心に取り組んでいましたが、一人一人の知りたいことが違うのか、アンケート項目で目的の達成度について回答する欄については、「達成できなかった」という回答が多く見受けられました。今後も情報格差の解消の手助けとなるよう実施していきます。

次に、地域の課題として多くの方が挙げていた防災について学ぶため、「防災講座～その時困らないために～」を実施しました。座学と体験という全2回の学級講座としました。人数の記入をお願いします。3月9日、男性5人、女性9人、計14人で、天気は晴れです。1回目は船橋SLネットワークを講師に、ふだんの生活に防災の備えを取り入れることを学びました。具体的に、備蓄は家族が何人なら何がどのくらい必要かなど、分かりやすく説明がありました。また、トイレをどのようにセットするか、マンションの場合はどうしたらいいんだろうということも学びました。参加者の皆さんの備蓄状況も発表し合い、1回目の後、早速家族で話し合いをしたという方もいました。2回目は墨田区の本所防災館にみんなで行きました。施設の防災士の方の説明を聞きながら、過去の災害の映像や体験のシステムで様々な災害のことを学びました。2回の講座を通して、いざというとき、まず、自分の身を守ることが一番大事。あとは近隣の方との協力、日頃から備えていくことの大切さを実感できたと思います。

次に、毎年、飛ノ台史跡公園博物館との共催で実施している「考古学講座」です。開催はこれからとなりますので、人数はまだ入れられませんが、定員40名のところそれを超える応募があり、会場が講堂という広いところですので、定員を超えても受付をしている状況だと聞いております。

次ですが、「あるいてみる飛ノ台周辺の遺跡・史跡」です。共催は飛ノ台史跡公園博物館です。2月2日、ちょっと寒い日でしたが欠席もなく、海神から行徳街道を神社や史跡を巡りながら歩きました。飛ノ台史跡公園博物館の職員に解説をしていただいて、長く住んでいても知らなかったことや、知らなかった場所について説明を聞くことができ、好評でした。

次が高齢者、「海神寿大学」です。休館中、半年間休講していた寿大学ですが、3月15日に落語鑑賞を行いました。皆さん忘れずに参加していただけて、閉校式も行いました。落語の出演は、昨年に引き続き桂伸衛門さんです。参加者の人数をお願いします。男性8人、女性43人、計51人です。天気は晴れです。今年度は4回しか開催できませんでしたが、防犯講座、海神の歴史講座、映画、落語など様々なプログラムで楽しんでいただけました。高齢者の皆さんの生きがいや楽しみ、交流、啓発など様々な役割があると考えております。月に1回のこの時間を今後も工夫して楽しい時間を過ごしていただけるよう取り組んでいきたいと思います。

「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」ですが、今年度最後は3月13日（月）に開催しました。共催は保健所の健康づくり課です。参加人数の記入をお願いします。男性3人、女性25人、計28人。天気は曇りのち雨です。

その他として、「海神公民館ボランティア活動支援事業」ですが、3月14日にボランティアの皆さんが久しぶりに集まりました。楽しく草取りをしたり交流をしました。また、公民館の避難・消火訓練にも参加していただき、一緒に訓練することができました。参加者は男性1人、女性8人、計9人です。天気は曇りのち晴れです。

最後に「海神公民館だより」を2月に発行いたしました。1月末に1万1,000部を新聞に折り込みました。館報を見て講座に申し込んでいただいたり、サークルの情報をお問い合わせいただいたり、身近な情報手段として館報の力は大きいと改めて感じたところです。特殊詐欺の注意喚起などもちょこっと載せたりしているのですが、これからも繰り返し啓発していきたいと思います。

以上です。

○沼波委員長

ありがとうございました。

それでは、委員の皆様からご質問あればお願いいたします。

○山中副委員長

今の海神さんの「ふなばしシルバーリハビリ体操」、3月13日に2コマやられたということですが、これは入れ替え制ですか。

○海神公民館長

はい。そうです。

○山中副委員長

それで、参加人数は合計でこれですね。

○海神公民館長

はい、2回分で書いております。

○山中副委員長

それから、3月9日の本所防災センターのこれはバスツアーですか。それとも……。

○海神公民館長

いえ、京成の海神駅から押上駅まで一緒に電車で行きました。

○山中副委員長

そこから歩いて。

○海神公民館長

そこから歩きました。

○山中副委員長

引率されたのは。

○海神公民館長

職員は私ともう一人の事業担当の会計年度任用職員と、生涯学習コーディネーターの方に

お二人同行していただいて、4名で引率いたしました。

○山中副委員長

ありがとうございます。

○沼波委員長

ほかにどなたかいらっしゃいますか。

宮崎さんです。

○宮崎委員

片仮名のスポーツで、どういうあれかなど。

○山中副委員長

カーレットですか。僕もそれを聞こうと思っていた。

○宮崎委員

どんなスポーツか簡単に教えていただければ。

○宮本公民館長

カーレットは、この長机2つを縦に並べて行う軽スポーツといった感じですかね。いわゆるカーリングをイメージしていただけたらと思います。

○山中副委員長

途中下車の旅で大分前にやっていたね。

○宮崎委員

ありがとうございます。

○山中副委員長

同じなんだけれども、レクスポというのは、レクリエーションスポーツということですか。

○海神公民館長

そうですね。

○山中副委員長

何か今、すごく短くしたりして、訳分からなくてね。

○山中副委員長

中央公民館が合同でやった「小学生けん玉交流会」ですが、これだけというのはもったいないね。

○中央公民館長

時間的には10時から15時まで、昼を挟んで5時間やったのですが、確かに1日というよりも継続してやったほうが子供たちにとっていいかなと思いますけれども。

○山中副委員長

指導者の方や面倒を見る人がいれば、クラブ化というか、4館合同の事業として、うまくやるとけん玉はブロックの大会から全日本、さらには世界大会まであるわけですよね。真剣にやれば狙えるんじゃない。一つくらいそういうのがあってもいいような気がするけどね。

○中央公民館長

確かに船橋に世界チャンピオンのお子さんがいらっしゃるんです。その子がすごくいろん

な技を持っていて、そういう子を目指していろんな子供たちがチャレンジする機会を設けるというのは、私たちの役目かもしれないです。また何か機会があれば。

○山中副委員長

年に1回、お茶を濁すようなことじゃなくて、少し腰を据えたことをやったら、もっともっと参加する子供たちも増えるだろうし、これは人が人を呼ぶ企画ですよ。1回だけだったらそれっきりですよ。でも、継続した形で各学校に掲示をして、参加を募って、結果の通信みたいなものも学校に送ってということであれば、かなり人気も出てくるし話題にもなるということになるんじゃないかなと思うんですよ。

○中央公民館長

今そういうご提案をいただいた中で、事業担当者の中でももう一度話をさせていただいた上で、一つの検討材料という形で把握したいと思います。

○山中副委員長

ありがとうございます。

次に浜町さんの「ハッピーサタデー」、3月18日の「みんなでお絵描き」ですけれども、材料・画材などは持参ですか。

○浜町公民館長

これはまだ行っていないものですが。

○山中副委員長

行っていない。でも……。

○浜町公民館長

持ってきてもらうという形ではないです。

○山中副委員長

ということは、画材は先生が用意してくるということ。

○浜町公民館長

先生と公民館とで準備するかと思います。

○山中副委員長

そうすると、鉛筆とか色鉛筆とかクレヨンとかその類ですか。それとも水彩絵の具を使うのか。何か非常に漠然としていたので、どういうことなのかなと、ちょっと気になったので。今現在不明であればそれで結構です。

○浜町公民館長

申し訳ございません。

○沼波委員長

私、一つお聞きしたいんですけども、中央公民館の「ふなばしハッピーサタデー」の18日に行う「はじめてのテニス」というものです。講師の方は幕張ですが、会場はどこになるんですか。

○中央公民館長

会場は講堂を使います。

○沼波委員長

上を使うわけですね。

○中央公民館長

以前にも、テニスではないですけども、ここのアルドールテニスステージの幕張新都心校から派遣いただいて、似たような形でやった経緯はございますので。

○沼波委員長

分かりました。ありがとうございます。

ほか、皆様いかがですか。

○染谷委員

先ほどもちょっとご質問になりましたけれども、海神公民館さんのいわゆる館内の行事ではなくて館外へ、それも職員の館長さんをはじめ引率で行かれると。飛ノ台の史跡のほうは近いからまだイメージが沸くのですが、こういった館外でやったときの参加者は、どうでしたかね。非常に珍しいと思うんですよ。

○海神公民館長

時間どおりに皆さんが集まってくれるのがまずとても心配で、電車の時間が限られていて、体験ツアーが10時半スタートというふうに決まっていたので、本当に誰か一人遅れたらどうしようという気持ちはあったのですが、皆さん本当に優秀といたしますか、協力的で、集合時間の20分くらい前には集まってくださっていたんです。それで一本早い電車でゆっくりと向かうことができたので、本当に助かりました。コーディネーターの引率の方もとても慣れていらっしゃって、私なんかまごまごしているところを、時間が変わっても、「じゃあ、次の時間は何分発だから乗り換えはここだね」みたいな、皆さんがはぐれないように気を使ってくださってすごく勉強になりました。

○染谷委員

参加者のほうは成人の方ですか。例えばお子さん連れでお見えになったとか。

○海神公民館長

いえ、今回は成人の方のみだったのですが、ただ、80歳を超えた高齢の方が3名か4名いらっしゃったので、エレベーターで行く方と階段で降りられる方と引率も分かれてついていくような形で、時間どおりに着くことができました。

○染谷委員

職員の方も大変ですよ。

○海神公民館長

緊張しました。

○沼波委員長

よろしいですか。では、皆様のご意見が出そろったところで、承認ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○沼波委員長

12月15日から3月31日までの事業報告を承認ということで、拍手します。(一同拍手)では、次に入らせていただきます。

令和5年度の各館の事業計画についてのご説明を、各館、順次お願いいたします。

○中央公民館長

それでは、中央公民館から、まず令和5年度の事業計画シートを基に、事業計画をご説明させていただきます。取りあえず、主だったものということでお話をさせていただければと思います。

まず、①、②にございます生涯学習に関するアンケートにおいて、居住地域について心配なこととしての「災害対策」や「外国人住民との関係性」が他のブロックと比較して高いという地域でございますので、そういう観点から考えた事業でございます。

まず、1番目、地域理解講座として、「みんなにやさしい地域防災講座」というところで今考えております。こちらに関しては、地域に暮らす方々といざというときにどのように助け合える形をとれるのかということから、ワークショップ等を交えながら学ぶ講座ができればと計画しております。

それと、地域理解講座②としては、「言葉や習慣から学ぶ異文化コミュニケーション学」というところでございます。こちらに関しましては、共生社会実現のための取組を充実させていく観点から、外国人の方々など、多様な人々の生活習慣の違いを具体的な事例を交えながら学んで、正しく理解するきっかけとなるような講座ということで、今、例えばベトナムの方ですとかいろいろな国の方々がいらっしやる中で、ほかの文化のコミュニケーションをいろいろと学ぶ機会になればと計画しているものでございます。

次は、7番、夏休み期間の子供たちの居場所づくり・学習機会の提供ということで、「サイエンスファンタジー」に関しては、例年、県立船橋高校にご協力をいただきましてやっていた事業でございます。昨年、おとしとコロナの関係からできなかったのですが、その前までは、すごく人気のある事業でございまして、応募と同時にすぐにいっぱいになるという事業でございます。3年ぶりか4年ぶりか忘れたのですが、できれば開催して、子供たちのために有意義な時間を過ごせるようなことで計画しております。

続きまして、24番でございます。24番の「デジタルデバインド対策」講座ということで、初心者向けの講座はもちろんやるのですが、それプラス、中級者対象として、「おもしろスマホ活用講座(中級者対象)」というところで計画しております。こちらに関しましては、ソフトバンクですとかNTTドコモの講師の方々をお呼びいたしまして、ある程度の初心者向けは対応するものとしてやるのですが、中級者向けとして、少し発展的な形もとれる講座というふうにできればと思っております。

次が26番、社会教育関係団体の支援ということで、「サークル活動見学・体験月間」ということで、11月から12月くらいを想定して、会員減少に悩んでいるサークルを募りまして、実際の活動を見ていただく、または体験できる講座ということで、いろいろな方々にご参加いただければというところでございます。

28番、こちらは中央公民館で活動しているサークルの成果の発表・地域住民との交流の場の提供ということで、「文化祭」でございます。11月に予定しております。昨年、一応文化祭をやったのですが、やはり新型コロナの影響から飲食を伴うものは駄目ということでございましたが、令和5年度においては、ぜひとも飲食を伴うものも交えて文化祭を開催したいと考えておりますので、もしご興味のある方がいらっしゃればご参加いただければと思っております。

それでは、裏面のページに行ってくださいまして、30番、リカレント教育の推進ということで、「雑談力アップのススメ～体験型講座でスキルアップ!～」です。1月から2月くらいに、成人の方々を対象として、相手との関係性の向上につながるような有用な雑談や、その雑談の目的を知って楽しめるようにするにはどういう力を養うかというところを観点とした事業でございます。今まで「雑談力アップのススメ～体験型講座でスキルアップ!～」ということはやっていなかったのですが、新規チャレンジということで、参加がどのくらいあるかというのが楽しみでございます。

続いて、31番、コロナ禍においても自宅で気軽に運動不足の解消ということで、「はじめてのマインドフルネスヨガ～カラダとココロを整える～」です。成人の方を対象として、ヨガのインストラクターの先生をお迎えして、6月から7月ぐらいいにかけてやろうかと。筋肉をほぐして身体を活性化させるヨガの動きを、幅広い年齢層の方々にご参加いただけるように計画していきたいと思っております。

最後になりますが、36番、「南部ブロック公民館合同事業」に関しては、今年度については、先ほど、けん玉ということでやった事業でございます。南部ブロックは4公民館ございますので、次年度についても、どういうふうなことをやるかということ、4人の事業担当者を中心として、各公民館単独ではできない、4館ならではのということで公民館の合同事業を計画しております。またお楽しみいただければと思っております。

簡単ではございますが、中央公民館からは以上でございます。

○沼波委員長

ありがとうございます。

次に、浜町公民館、お願いいたします。

○浜町公民館長

浜町公民館でございます。浜町公民館も、主だったところでご説明させていただきます。

浜町地区の役割といいますか立地の中で、海のアピールというところがあると思います。まずそのところで、番号で言うと1番と2番になるのですけれども、海を活かした街づくりというところで、海洋少年団と共催いたしまして「海とのふれあい講座」を予定しているところがございます。今、内容と時期については検討中でございます。

次に、2番、海を活かした街づくりとして、「浜の子どもキッチン」です。こちらは、昨年一度行いまして非常に好評でございましたので、来年度も引き続き、船橋産の魚の解体と船橋の海の環境の状況といったところをご説明いただきながら、親子で楽しく料理をしていたくというところを企画しております。

こちらのシートの作成以降にまた一つ決まった内容がございましたので、口頭でございますけれども、さわりだけお伝えいたします。船橋市の親水公園、海のへりに公園がございまして、こちらと共同で事業を何かできないかと検討いたしまして、種類を問わずダンスの披露をしようということで、ダンスイベントを計画いたしました。5月に予定がございまして、浜町公民館が楽屋となります。練習・ウォーミングアップを行って、親水公園のほうで本番の舞台が行われます。そこにフードコートなどが出て、非常ににぎやかなイベントになるという計画を立てております。

続きまして、浜町はやはり外国人が多い地域でもございますので、27番、多文化共生というところで、こちらの表に「ベトナムの料理教室」というところで計画をしております。大分内容が詰まってまいりまして、親子の生春巻き教室が7月で、8月に一般のやはり春巻き教室を計画しているところでございます。国際交流課と現在協議を進めている中で、中国の文化の説明も1回どこかで行う計画を進めているところでございます。

続きまして、最近のところでデジタルデバイドの解消でございますけれども、昨年に引き続きまして、31番から34番、近隣のらぼーと内に店舗を構えておりますNTTドコモさんのご厚意によりまして、今年度、令和4年度につきましては3回セットのものを行ったのですけれども、講師のほうの都合もございまして、2回の内容を4回行う、2回セットを4回という形で行う計画を立てております。

取りあえずでございますけれども、以上でございます。

○沼波委員長

ありがとうございます。

次に、宮本公民館、お願いいたします。

○宮本公民館長

宮本公民館の令和5年度事業計画をご説明いたします。全事業42事業予定していて、うち学級講座7事業、集会活動31事業、その他が3事業で、未定が1事業となっております。

青少年の健全育成・居場所づくりとして1番から4番までを予定していて、3番目が新規事業となっております。「地域の歴史を学ぼう」として、神社仏閣が多いこの地域の歴史を地域の子供たちに伝承していけたらという思いで開催をする予定です。学級講座か集会活動かは、講師と打ち合わせをしていく中で決定していきたいと思っております。

次に、親子のふれあい・体験学習として、5番、「家族で楽しく！iPadではじめてのプログラミング体験」は、ソフトバンクに実施していただきます。

次に、家庭教育力の向上として、6番から12番を予定しております。児童ホームとの併設である利点を活かして、乳幼児親子向けの充実を図りたいと思っております。

次に、高齢者の生きがいづくりは、13番、「宮本寿大学」を例年どおり実施していきます。

次に、高齢者の健康づくりは14番から16番を、昨年度と同様に保健所健康づくり課、また宮本・本町地域包括支援センターとの共催で実施していきます。

次に、デジタルデバイド対策は、17番から20番までを予定しています。ソフトバンクを中心に、これから購入を考えている人や高齢者向けを実施していく予定です。また、初級・

中級者向けスマホアプリ活用講座も、今年度に引き続き、来年度も実施を考えているところです。

次に、ふるさと船橋について学ぶ機会として、21番、「船橋を歩く」を開催。近年、コロナ禍で未実施ではありましたが、来年度は実施可能かと思っております。講師と相談しながら、市内全域を対象に歴史を感じながら歩ける場所を検討していきたいと思っています。

次に、みやもと三百人劇場の活用は22番から28番で、主催のコンサートを5回、「地域ふれあいコンサート」を1回、「スタインウェイを弾いてみませんか」を2回予定しています。「スタインウェイを弾いてみませんか」は、先ほども事業報告の中でお話がありましたが、今年度は8月と3月に、試験的にニーズがあるかどうかという形での開催をさせていただきました。アンケートも、3月はこれからですが、8月にも実施したところ高評価をいただき、今回、新規扱いとして実施させていただく運びとなっております。実際に、グランドピアノのスタインウェイというのは希少性があることから、文化・芸術に触れる機会や、小ホールではあまり発表する機会がない方たちにも味わっていただけたらという思いで開催することになりました。

次に、社会教育関係団体の支援は29番から32番で、「みやもとまつり（文化祭）」「社会教育関係団体研修会」「サークル活動見学・体験会」、そして「宮の森ギャラリー」を継続事業として実施いたします。「サークル活動見学・体験会」は、やはりコロナ禍で3年ほど実施ができていないので久しぶりの開催となりますが、文化祭のときに告知をして、文化祭後に開催するという流れで行けたらと思っていますところです。

次に、地域の美化は、33番、「クリーンアップみやもと」で、公民館の目の前にある公園を、児童ホーム、保育園職員と一緒に継続的に実施していきたいと思っています。

地域コミュニティの弱体化（外国人との情報共有）は34番で、「消防・避難訓練」を、これは、外国人の方が日本語を学ぶ機会として、日本語教室を国際交流協会の主催の下、宮本公民館でやっていますが、そこの外国の方に避難訓練を体験していただく。そして、起震車等の体験もしていただく機会としております。来年度も引き続き実施していきたいと思っています。

次に、生涯学習コーディネーターとの連携は35番、36番で、「みやもと生涯学習セミナー」を、学級講座と集会活動の2回、開催の打ち合わせをしていきたいと思っていますところです。

スポーツの推進は37番、コロナ禍で、やはりなかなか実施できていませんでしたが、今年度から、夜6時半から8時半まで「卓球開放」を実施しております。来年度も、利用が少ない夜間に開催をしていきます。

次に、スポーツの推進・スポーツ推進委員との連携は38番から41番で、基本的にはスポーツ推進委員からの共催依頼により実施している事業で、「グランドゴルフ大会」を春と秋、「楽しく元気に歩こう」を実施する予定であります。

最後に、公民館の情報発信として、「公民館報（みやもとかわら版）発行」ということで、事業計画シートの宮本のご説明を終わります。

○沼波委員長

ありがとうございます。

では、海神公民館、お願いいたします。

○海神公民館長

令和5年度の計画についてご説明いたします。

大体、上の1番から5番までにつきましては例年どおりでございます。

6番の「はじめてのピラティス」は、今年はヨガだったのですが、夜間の事業ということで、今回は女性だけに限らず男性にも来ていただけるような講座として行いたいと思っています。

7番、環境問題につきましては、SDGsを踏まえて、南部ブロックは海に近いということもあり、海のプラスチックごみなどについての学習会を予定しております。

8番、男性の自立・仲間づくりとして、男性向けの料理教室を企画しました。コロナ前に社会福祉協議会のほうで行っていた男性の料理教室がなくなってしまったことから、今回も男性向けの料理教室を行いたいと思っております。

9番、「健康ウォーキング講座」ですが、こちらは19番の「海神はつらつ健康体操」を、まず前半4月から9月に行います。今まではこちらを年間通して行っていたのですが、後半になるとやはり参加者の方が減ってきてしまうということもあったので、半年間こちらをやって、その後また改めて募集して、「健康ウォーキング講座」ということで、歩き方の学習会を行っていこうと思っています。

続きまして、「あるいてみる飛ノ台周辺の遺跡・史跡」、10番です。こちらは毎年行っているのですが、遺跡・史跡散策マップというものを飛ノ台史跡公園博物館でつくっていただいて、そちらの内容に基づいてコースを決めて行っています。ほとんど、もう1回は歩いてしまったのですが、こちらの改訂があるかなというところで、また改めてコースを検討しながら進めていきたいと思っております。

13番ですが、外国人住民との相互理解ということで、多文化共生というテーマを入れていきます。ふなばし一番星プランの中にもありますので、それに基づきまして、近隣の国際理解、外国人住民との相互理解、どちらに向けて行うかまだ具体的な検討をしていないのですが、こちらの講座を取り入れていきたいと思っております。

「デジタルデバインド対策講座」や「地域防災講座」「認知症予防講座」などは、例年どおり行いたいと思っております。

28番の親子のふれあい、「音楽教室」は、今まで児童ホームとの共催で行っていたリトミック教室を、内容を変えて音楽教室を行うということで、新規で丸をつけております。

文化祭が3年間できておりませんでしたので、文化祭については来年度実施の方向で考えています。公民館利用者団体協議会が共催となっておりますので、こちらの団体と協議しながら、10月の文化祭実施に向けて話し合いをしていきたいと思っております。

また、例年できなかった「卓球開放」なども、来年度は毎月1回実施していきたいと思っております。

主な事業の説明は、以上となります。

○沼波委員長

ありがとうございます。

委員の皆様から、ご質問等何か。

宮崎さん。

○宮崎委員

今お話に出ていた文化祭なのですが、各館4館、できなかった経過もよく知っていますが、今年、4館とも文化祭を予定しているのか。例年、時間や日にちをずらしてやっていますよね。そんな予定もひとつお聞かせ願えればと。

○沼波委員長

館長、いかがでしょうか。

○中央公民館長

大体、重ならないように文化祭をやっていく予定では考えております。中央公民館においては、例年、11月の第1週の土日ということになっております。

次に、浜町公民館さん。

○浜町公民館長

浜町につきましては、今年度もやっております。実施が9月の頭辺り、第1の土日を予定しているところでございます。内容につきましては、まだそこまで詰まってはおりませんが、できる限り華やかにするという事で考えていきたいと考えております。

○中央公民館長

浜町は10月じゃないの。

○浜町公民館長

ごめんなさい、10月の初旬でございます。

○宮崎委員

たしか決まったら日程が広報に出ますよね。

○中央公民館長

そうですね。26公民館全部の文化祭のご案内ということで、9月ぐらいに広報に出す予定では考えております。

○宮本公民館長

宮本は、10月の最終の土日、28日、29日を予定しております。

○海神公民館長

海神公民館は、10月の第3土曜日、日曜日で、21日、22日を予定しております。

○宮崎委員

分かりました。ありがとうございます。

○沼波委員長

ぜひ実現してほしいですね。手伝う側も、もういろいろなことを忘れてしまっているのですが、多分、今年は再開したら大変かなと思うんですよね。このところの3年間のあれは大きいと

思います。

○宮崎委員

ブランクが本当に大きいと思いますので。

○沼波委員長

ですから、早めに準備しないとちょっと難しいかなと。

ほかに、皆様いかがですか。

山中さん、何か。

○山中副委員長

これを見ていて、歴史が古代に集中していますよね。飛ノ台などを含めて。そうじゃなくて、船橋って、結構、調べてみると歴史がすごく面白いねということを、僕、最近思うようになりました。

宮本の館長、宮本川があったというのを知ってる？

○宮本公民館長

いえ、存じ上げていません。

○山中副委員長

江戸時代にあったんですよ。それと、峰台小学校で千葉氏と豊臣軍の戦いがあるって、慈雲寺が焼失して、そして慈雲寺が移ったというのを知ってる？

○宮本公民館長

いいえ。

○山中副委員長

知らないですね。結構、調べてみると船橋の歴史ってすごいなと。戊辰戦争のことからいろいろなのめっちゃあって、船橋というのは歴史好きにはたまらない。宮本地区だけではない。海神も飛ノ台だけじゃないんだよね。すごい歴史が詰まっているんだよ、調べてみると。

だから、前は、誰だったっけ。船橋の歴史の会のお亡くなりになっちゃったけれども。

○沼波委員長

海老原さんですか、滝口さんですか。どちらだろう。

○山中副委員長

滝口さん。

○三宅委員

海老原さんはまだ亡くなっていないと思う。

○山中副委員長

海老原さんじゃない、滝口さん。

郷土資料館、本町の中央図書館、それから西図書館なんかでも、かなりの資料があるだけではなくて、中の職員さんがよく知っているんだよね。だから、役所の人材だけでも、かなりの面白い講座ができるはずなんだ。そこら辺をやってみたらどうか。地域を多少広げたとしても、歴史を縦割りにするのもあるし、船橋の地域を区域で分けてみたいやり方も、い

いろいろあると思うので。年をとると男は歴史が好きになるから、結構参加があると思うんだよね。

○宮本公民館長

今回は、宮本の3番で上げさせてもらっていますが、対象は成人向けではなくて青少年向けで、改めて実施してみようかなという形です。

成人向けは、それこそ生涯学習セミナーのほうで、歴史的なものは過去ずっと開催をしているところから、ご年配の方たち、また地域の方たちは、宮本の歴史にもしかしたら詳しい方が多いのかなと。逆に、今度は子供たちがそういった地域の歴史を伝承していく役目にもなっていくかなというところで、まだ講師等も全然決まってはいませんけれども、できたら小学生を対象に、僕の頭の中では夏休みの自由研究というようなところも、一つ考えながらやれたらなという想定は今のところしています。事業担当とまた相談しながらやっていきたいと思っています。

○沼波委員長

ぜひ実現するといいですね。

○山中副委員長

歴史のものは、1年間やれば「はい、終了しました」ということじゃないだろうと思う。だから、歴史研究会なんていうのはよそではあると思うけれども、宮本なら宮本、海神なら海神でつくって、それを連携する。もっと言えば、4館合同でもってそういうのをやる。

イベントだけが4館合同ではなくて、成人の中でも4館合同で組んでやっていって、それで文化祭などで郷土の歴史の面白いところを発表するということをやれば、船橋を知る機会というのがもっともって増えてくる。僕の勝手な妄想ですけども。

○沼波委員長

楽しそうですね。ご一考いただければと思います。

○宮崎委員

その件に関して、一つ。子供や孫が、うちの場合だと船小、船中にずっと、まだ行っている孫もいますけれども、その子たちに聞いても、船橋の歴史という形で、戊辰戦争で、大神宮で官軍と幕府軍が戦をやったということなんて、全然知らないんですよ。我々は、年寄りに聞いたので覚えているのだから何だか忘れちゃったけれども、そういう事実を今の子は知らないんです、小中学生を含めて。だから、そこをもうちょっと教えてあげてもいいのではないかなと。それで、周りの神社も巻き添えを食ったとか、そんな話を聞いているんですよ。

○山中副委員長

何て言ったっけ、坂の上のお寺。今、すぐに出ないんだけど。

○宮崎委員

西福寺でしたか。

○山中副委員長

西福寺ではなくて、西福寺よりもう少し奥へ入ったところ。あそこに幕軍の砲台陣地があって、それ以前から幕府の講武所の関係で陸軍、あれが砲弾を撃つ訓練所にもなっていたと

いうことなので、へえとと思ってね。

○宮崎委員

あんまり物騒な話で、子供に教えなかったのかもしれないですけどもね。ただ、そういう事実があった。まさに戊辰戦争のときに舞台になっているというのは、どの子供や孫に聞いても知らない。それでいいのかと思っています。

○山中副委員長

自分が住んでいるところのことを知るということは、すごく大事だよな。

○沼波委員長

そうですね。楽しいでしょうね。

どうぞ。

○染谷委員

今のことですけれども、公民館さんでは、企画もありますけれども、場所の提供ということに役割がなっています。昨年でしたか、宮本公民館さんのほうで図書館とコラボレーションして、船橋に在住していた画家の磯田長秋の図書館企画が、会場を宮本公民館でというのがありましたよね。ああいう形は珍しいなと思いました。展開していけば、今のお話もそうですが、いろいろ広がっていくのではないかと思います。そうすると、公民館に集まる人もいろいろな趣味の人が増えるのではないかなと思いますね。ああいう企画も本当に良かったなと思います。

○沼波委員長

あとは、広報で何かそういう隠れたものを知っている方の意見を求めても楽しいですよ。それを一つにまとめて。広報は皆さん若い人も結構読まれているから、意外と伝え聞いている皆の知らないようなこともあるかもしれない。そうしたら、知れたら楽しいですよ。

私たちもやはり親から聞いて知ったわけで、実際、その時代に生きていないわけだから、楽しいとは思いますがね。一時、歴女という、女性のそういう人たちが増えたということもあるしね。

○中央公民館長

今までの皆さんのお話をお伺いした中で、船橋の歴史ってやはり大事だと思いますので、例えば図書館ですとか郷土資料館と連携を組み合わせながら、そういった観点で何か事業ができるものがあるかどうか、各館、それぞれ伝えていく役目として必要性があるのかなと思いますので、それぞれが何らかの形で、子供たちまたは大人の方も含めて、船橋の歴史について改めて知る機会というのは、いろいろ検討はしていきたいと思います。よろしく願いいたします。

○沼波委員長

長谷川委員、どうぞ。

○長谷川委員

今の話ですけれども、私は今中学校の校長ですけれども、初任が宮本小学校で、そのときに、小学校4年生でやる社会の授業が「わたしたちの船橋」ということで、そういう副読本

を使って授業をやるのですけれども、そこにはやはり歴史というよりも市の成り立ちだったり、成ってきた様子だったり、あとは産業とか農業とか漁業とか、そういったところに焦点が当たっていました。私も4年生を2回やりましたけれども、歴史というところはあまり深く掘り下げていなかったなと思っています。

そういった意味では、先ほどおっしゃっていたような内容のものが、公民館と小学校でどの程度合わせてできるか分かりませんが、先ほどの夏休みの自由研究というようにところもあるんで、そういったところを小学校のほうに出していくとまた広がっていく、深くなっていくのかなと感じたところです。

○沼波委員長

ありがとうございます。

三宅さん。

○三宅委員

全く別のことです。中央公民館さんの30番で、「雑談力アップのススメ～体験型講座でスキルアップ!～」というのがあって、私、雑談をこんなに深く考えたことがなくて、「相手との関係性向上のために有用な雑談について、雑談の目的を知り、楽しめるようになるための力を養う」と、こういう講座が今開かれるんだなというのに改めてびっくりしてしまいました。雑談って何でもいいような気がしていましたけれども、こういう取組はどこから生まれるのかなと、ちょっと不思議に思ってしまったんです。

○中央公民館長

やはり、雑談力って、一言で言うと人と人との話合いでいろいろな話がある中で、例えば、あまり知らない人同士だとなかなか話が進まないということもあるかと思うんです。そういった中で、雑談力があると、お互いに「こういうのがありますよね」みたいなことでどんどん話が盛り上がる。そういう振り方もできるんじゃないかなという観点で考えると、こういう雑談力というのは、やはりアップする必要性があるのかなと思います。

○三宅委員

何か不思議ですよ、私たち。

○山中副委員長

そうなのよ。これは我々世代の話ではなくて、今、結局、コミュニケーションツールというのは、フェイス・ツー・フェイスからこれでしょう。しかもこれでしょう。

ということでもって、人と人が話すということに対して不慣れな世代というのは、もう実は40代。だから、ビジネスの場でも、相手と会ってビジネスの話はできるけれども、ビジネスの場でもって場をつくり上げることができる人というのは、一つの会社でもいるかいなかです。小さいところだと。大きいところになると、社員教育がしっかりしているから。

例えば、こういうことですよ。宮本の館長はご出身はどちらですか。

○宮本公民館長

地元、夏見です。船橋です。

○山中副委員長

地元ね。じゃあ駄目だ。話にならない。地元じゃない人いますか。じゃあ、むしろ校長さんをお願いしたい。

○長谷川委員

私は、地元は勝浦市です。

○山中副委員長

勝浦市。初カツオなんか、一番カツオが盛んだし、マグロの角煮だとかカツオの角煮だったり、うまい酒の醸造所もあるし。これが雑談なんですよ。今の全部ひっくるめてね。だから、話をどう振ってつくっていくかということ。これが、今できる人が少ない。

○三宅委員

少ないですね。

○山中副委員長

だから、こういう講座というのは、ある意味すごく大事なのよね。

○三宅委員

成人向けですものね。だから、ちょっとびっくりしてしまって。

○中央公民館長

今までやったことがない講座ではあるので、どのぐらいのニーズがあるかどうかというのは分からないですけども、ただ、やはりチャレンジしてみる価値はあるのかなというところでの事業でございます。

○三宅委員

これは、日にちとかが決まったら、こっそり私に教えてください。

○中央公民館長

こっそりと言わず。事業計画をお話しするときには、多分、リカレント教育で「雑談力アップのススメ」ということをご紹介させていただきますので。隠してではなくて。

○三宅委員

ちょっと覗いてみたいので。

○山中副委員長

これも、1回こっきりということではないですよ。

○中央公民館長

そのところはまだこれから。

○山中副委員長

リカレントということでは、今の雑談もあるでしょうけれども、コミュニケーションをつくるというのは雑談だけじゃないですからね。いろいろあるわけだから。そういうものがうまい講師もたくさんいます。大学のコミュニケーション学科の講師回りになれば、結構面白いネタをたくさん持っていますよ。

リカレントというのは、学業を卒業して社会に出た人が、もう一度学習し直すということだよ。だから、自分がちょっと忘れてしまったことであったり、不得手なことであったり、そういったことをもう一度学習し直して、スキルアップというのはちょっと違うのかも

れないけれども、社会人としてうまく活躍できることの場合、学習の場ですよね。だから、それは1回こっきりがリカレントじゃない。リカレントというのは継続なものだから。そこら辺、企画を進めていく上で考えていただけるといいなと思います。

○中央公民館長

そのところは、これから詳しいことを決めていきますので、その中で、提案いただいたものは考えていきたいと思います。

○山中副委員長

大人のやつでしょう。だから、何も公民館の部屋の中で机を並べてやるだけじゃなくて、それが終わった後だってあるわけで。よく、忘年会なんていうのもそうだけれども、要するに、もっと、例えば音楽であったりとか、手品であったりとかというのを絡めてのコミュニケーションの輪をつくる、グループをつくってやっていくとか、考えればいろいろなことがあるような気がします。そうしたら、すごく楽しい。参加するのが楽しくなるようなものを。

雑談をできるようにしましょうなんて言ったって、何が雑談だというのが基本だよ。でも、持っていき方ではこんなに面白い企画はないと思う。

○中央公民館長

初めてのチャレンジなので、私もすごく楽しみに、どういうふうな講座が企画できるかというところで考えていきたいと思います。

○沼波委員長

ぜひ、私たちも参加するように。

○山中副委員長

僕なんか、今の子供たちにこそ、この雑談力というのは必要だろうと思っている。

○三宅委員

コミュ障が多いですね。

○沼波委員長

やっぱり親ですよ、こういうのにかかってくるのは。親にその力がないと、子供には伝わらないから。

○山中副委員長

それと、今は親と子の関わり方が非常に薄くなっている。お父さんは仕事で忙しいから、お父さんと関わるのが少ない。お母さんも、パートを持っていたり、自分で仕事を持って実際に働いている。夕方までいない。だから、学童に行くわけですよ。学童に行く前、それ以前の話としてそういう家庭環境があって、学校で勉強をやっているときに、遊び時間もひっくるめて、今はコミュニケーション能力の高い子とそうでない子、格差があるでしょう。しかも、高い子がすごく少なくて、能力の低い子が非常に増えちゃっている。そうでなくても、ADHDの子供は今増えている。先生は大変だから、全部見られない。そういう状況だと、子供たちにとってもこういう講座というのは実は必要なんだよね。

それを学校にお任せするだけではなくて、やはり地域の公民館でもって、それこそ友達づくりをうまくやるのは、文化祭であったり、ああいったときにちょっとした組み合わせをや

って友達になるなんていうのは、すぐできるわけだよね。学校でフォークダンスをやるなんていうのも、まさに、そういうのをきっかけにして、今まで言葉を交わしたことの無い子と言葉を交わせるようになるきっかけづくりが、体育の中であつたりいろいろな中であるわけでしょう。学校はものすごく一生懸命やっているけれども、大人社会というのは、どうも子供に対してそういう意味では少ないよね。だから、公民館のこのハッピーサタデーなんかは、まさにすごくいい企画ですよ。

何か、とりとめもなくなりますからやめます。

○沼波委員長

よろしいですか。では、令和5年度の事業計画を承認ということによろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

○沼波委員長

これで、今日の議事は終わりということによろしいでしょうか。

事務局のほうから何かありましたら。

○事務局(中央公民館長補佐)

沼波委員長、ありがとうございました。委員の皆様、ご審議ありがとうございました。

それでは、事務連絡をさせていただきます。次回の会議は、先ほど、机の上に令和5年度の公民館運営審議会の日程表をお渡ししてございます。今回の表紙にもありましたように、次回の会議は令和5年4月27日(木)、午後3時から、こちらは中央公民館第2集会室を予定しております。ご出席いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

では、以上をもちまして、令和4年度第5回中央公民館運営審議会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後4時50分閉会

議事録署名人_____